

講義 番号	講義テーマ	講義概要	教員氏名	職名
1			江南 宣子	教授
2	1.疫学研究の紹介 2.行動遺伝学研究の紹介	1.F・ナイチンゲールをはじめとした古典的な疫学研究を紹介を通して、現在の看護の基礎を理解する。 2.病気や行動は遺伝と環境の影響をそれぞれに受けているが、それらの意味を行動遺伝学の知見をもとに紹介する。	乾 富士男	教授
3			上仲 久	教授
4			大田 容子	教授
5			奥田 真紀子	教授
6			尾ノ井 美由紀	教授
7	①災害と看護 ②看護とコミュニケーション	①災害に備えて日ごろからできることを過去の事例からお話しします。 ②表情から読み取る観察の看護技術の実際を紹介しながら、看護師の役割を紹介します。	鈴木 紀子	教授
8			溝口 幸枝	教授
9	がんの痛みをもつ患者への看護～ケアを通して看護を知ろう～	①看護学について知る、②がん患者さんの痛みを緩和するチーム医療における看護師の役割を知る、③看護職としてのキャリアデザインをイメージできることを学習目標に講義を行います。チーム医療が推進される今、「看護独自の活動とは何か」を事例を用いてわかりやすく説明します。	山中 政子	教授
10	脳卒中の予防と看護	出張講座では、看護師の臨床経験を交えて、脳卒中の知っておきたい症状や看護について説明します。また本学の学生生活についても説明します。	東 真理	准教授
11	覗いてみよう国際看護	社会が抱える健康課題をグローバルな視点で捉え、看護が人々の生活や健康にどのようなアプローチで貢献できるのかを考える。異文化理解、留学や海外就職の道など看護職のキャリアデザインができるような説明をする。	高橋 里沙	准教授
12	①こどもの成長発達とコミュニケーション ②こどもの事故と対策	①こどもの成長と発達について説明します。実際に子どもの視界を体験しながら、子どもの認知(考えていること)について学び、コミュニケーション方法を考えます。 ②こどもの視界・からだの特徴についてお話します。子どもが誤って異物を飲み込んだときの対処方法について演習で体験できます。	徳島 佐由美	准教授
13	①生きている証しを確認しよう ②身体の上手な使い方～楽に動く・安定した姿勢～	①心臓の鼓動(心拍)や呼吸、お腹の音を聴診器で聞いてみる、脈拍や血圧、体温を測定してみることを通して人が生きている証しを確認します。 ②看護では身体を上手に使って、少ないエネルギーで有効な活動ができる技術を学びます。これを「ボディメカニクス」を活用するといいます。重たいものをもつときのコツ、身体を安定させるときのコツなどを体験してみましょう。	森嶋 道子	准教授